

障がいがある方たちの 災害24時

～いのちを守る自助・共助マニュアル～

平成26年3月発行

制作 海部東部障害者総合支援協議会 社会資源開発部会

委員 どんぐりの森（就労B・放課後等デイサービス）

委員 当事者家族（高次脳機能障害）

委員 びいえん（就労B・生活介護）

委員 ゆうとぴあ患愛（障害者支援施設・地域活動支援センター）

委員 愛厚弥富の里（障害者支援施設）

委員 あま市社会福祉協議会障害相談支援事業所

委員 「おおはる」指定障害相談支援事業所

あま市

大治町

絵の協力 愛知県立芸術大学 吉田茉央さん

編集協力 尾関帆波さん

発行・問い合わせ先

あま市役所福祉部社会福祉課 ☎ 052-444-3135 fax 052-443-3555

大治町役場福祉部民生課 ☎ 052-444-2711 fax 052-443-4468

あま市社会福祉協議会障害相談支援事業所 ☎ 052-446-0612 fax 052-443-3844

「おおはる」指定障害相談支援事業所 ☎ 052-433-2343 fax 052-442-0882



このマニュアルはダウンロードできます。

あま市 <http://www.city.ama.aichi.jp/> 大治町 <http://www.town.oharu.aichi.jp/>

災害からいのちを守るために

準備する

- ①災害を知りましょう . . . 1
- ②平常時の取り組み
 - まず、自宅で安全な環境を作りましょう . . . 2
 - 早めに避難できるように準備をしておきましょう . . . 2
 - 地域の人たちに自分の障がいについて知ってもらいましょう . . . 2
- ③災害発生に備えるチェックリスト（共通編） . . . 3～4
- ④災害発生に備えるチェックリスト（障がい種別編） . . . 5～6

地震だ！！

● おちついて！身を守れ！

- ・ 姿勢を低くする
- ・ 頭と体を守る
- ・ 揺れが収まるまでじっとする

● たおれてくる物に注意！

- ・ 棚・ガラス・テレビなど

● すばやく火の始末

● 逃げ道を確保

- ・ あわてて外に飛び出さない！
- ・ スリッパ、くつで足をまもる

● 正しい情報で行動

- ・ 防災情報メールを見る
- ・ テレビ・ラジオ（FM77.3）をつける



3秒

3分

■ お住まいの市町窓口

市町名	課名	郵便番号	住所	電話番号	ファックス番号
あま市	安全安心課 消防防災係	490-1292	あま市木田戌亥18番地1	052-444-0862	052-441-8330
	社会福祉課 障害福祉係	490-1198	あま市基目寺二伴田76番地	052-444-3135	052-443-3555
大治町	防災危機管理課 消防防犯係	490-1192	大治町大字馬島字大門西1-1	052-444-2711	052-443-4468
	民生課 障害福祉係				

■ お住まいの指定相談支援事業所

市町名	事業所名	郵便番号	住所	電話番号	ファックス番号	障害種別
あま市	あま市社会福祉協議会 障害相談支援事業所	490-1205	あま市花正中之割13番地1	052-446-0612	052-443-3844	身体・知的・精神・児童
大治町	「おおはる」指定障害相談支援事業所	490-1143	大治町大字砂子字西河原18	052-433-2343	052-442-0882	身体・知的・精神・児童

■ 相談窓口一覧

名称	郵便番号	住所	電話番号	ファックス番号
○消防				
海部東部消防署	497-0002	あま市七宝町遠島十坪119番地1	052-442-0119	052-442-3180
海部東部消防署北分署	490-1105	あま市新居屋岩屋75番地	052-443-0119	052-443-0159
海部東部消防署南分署	490-1142	大治町大字三本木字西之川102番地の1	052-444-0119	052-444-0350
○県福祉相談センター（児童・障害者相談センター）				
中央児童・障害者相談センター	460-0001	名古屋市中区三の丸2-6-1（三の丸庁舎7階）	052-961-7253	052-950-2355
海部児童・障害者相談センター	496-8535	津島市西柳原町1-14（海部総合庁舎3階）	0567-25-8118	0567-24-2229
○発達障害者支援センター				
あいち発達障害者支援センター	480-0392	春日井市神屋町713-8（心身障害者コロニー内）	0568-88-0849	0568-88-0964

■ 災害伝言ダイヤル

災害発生時には電話が混雑し、電話がつながりにくくなることがあります。被災地内の電話番号を利用して、安否などの情報を音声により伝達する「声の伝言板」で、災害時に限定して利用可能となります。全国の一般電話・公衆電話・携帯電話から利用することができます。

○ 伝言を入れたいとき

171-1-052-□□□-□□□□

案内放送が流れます

自宅の電話番号を入力します

● 伝言を聞きたいとき

171-2-052-□□□-□□□□

案内放送が流れます

自宅の電話番号を入力します

■ 災害情報を調べるには

気象庁ホームページ	http://www.jma.go.jp/	気象警報・注意情報など
国土交通省 川の防災情報	http://www.river.go.jp/ 携帯サイト http://i.river.go.jp/	洪水予報・水位・雨量情報など
愛知県 川の防災情報	http://www.kasen-owari.jp/ 携帯サイト http://www.kasen-owari.jp/m/	愛知県が管理する河川情報（新川・五条川・日光川・福田川・蟹江川など）の情報

③ 災害発生に備えるチェックリスト（共通編）

個人でできる備えがあります ~少なくとも3日分の備えを!~

備蓄品

自宅内の被害にあいにくい場所に保管しておくもの

じぶんをまもる

水

- いつもお風呂に水をためておく
- 保存ができるペットボトルの水など（1日ひとり3リットル以上）
- 携帯用トイレ
- 自分で給水場所に行けない場合の支援者の確保など



食

- 飲料水
- 保存ができる食品
- 特別食（アレルギー食など）



電気

- 懐中電灯
- ろうそく・マッチ・ライター
- 予備の電池
- 医療器具・車いすなどの予備バッテリー
- 車から充電できる機器 など



避難する

3時間

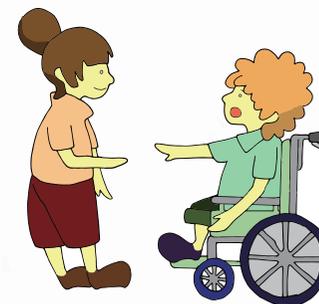
24時間

← 災害状況によって、各自判断をしてください。

- ・ 近所に助けを呼ぶ

状況によっては自宅で…

- ・ 生活品は備蓄でまかなう
- ・ 余震に注意し、無理はしない
- ・ ひとりにはならない



- 障がいに応じた対応 困ること・願うこと

⑤視覚障がいのある方 7~8

⑥肢体不自由のある方 9~10

⑦聴覚障がいのある方 11~12

⑧知的障がい・発達障がいのある方 13~16

⑨精神の疾患や障がいのある方 17~18

◇わたしの情報 19

◇お問い合わせ先一覧 20

大規模な地震や大型台風など、災害はいつ発生するかわかりません。被害を未然に、または最小限に防ぐためには、「自助・共助・公助」の連携がとても大切です。

この「災害24時」は、障がいのある方だけではなく、支援者の方にも利用していただきたいとの願いから作成しました。普段からの必要な備え、災害が発生した時のご本人や周りの支援者の行動など、皆で話し合っしてほしいことが書いてあります。

普段からいつ発生するかわからない災害に備えて、この「災害24時」を活用しましょう。

① 災害を知りましょう

地震 じしん

家の安全対策や、発生時に慌てない行動を！！

いつ起こるかわからない地震。

強い揺れと液状化や火災などで大きな被害が予想されます。

どんな災害にも対応できるように日頃から備えておきましょう。



風水害 ふうすいかい

早めの避難！！

台風・大雨・竜巻など、強い風や浸水などが予想される場合は、気象情報や避難情報に注意し、近所の人たちが避難していなくても、早めの避難を心がけましょう。



確認しよう！！

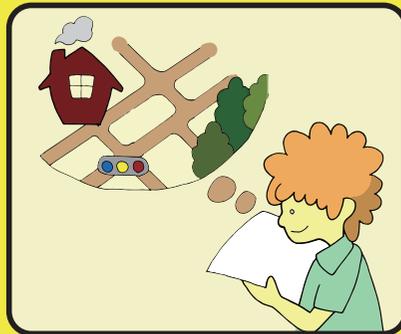
ご自分の住む地域では、どのような災害が起こりうるのか想定できましたか？

住まいの地域によっては、地域で水害が起こりやすい場所や、危険な地域を「ハザードマップ」や「防災マップ」などで住民にお知らせしています。

家族みんなで防災について話し合いましょう！

日頃から、近所の人や、協力してくれる人、市町村、相談支援事業所などに積極的に相談しましょう。

「想定外」を
想定しよう！

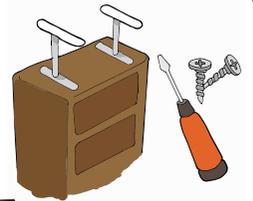


② 平常時の取り組み

防災の第一歩は、平常時から「自分の身は自分で守る」という心構えと準備が大切です。

まず、自宅で安全な環境を作りましょう

- 家具の転倒防止
- 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る
- ラジオや携帯電話など、大切な物を常に身近な場所に置く
- 必要な物をいつでも持ち出せるような場所に準備する
- 必要な物には、暗闇でもわかるように発光シールなどを貼る
筆談用具・ホワイトボード・笛・プザー・白杖・車いすなど
- 携帯ラジオを、いつでも聞けるように準備する（乾電池も）
- 自ら（本人）が落ち着くグッズ（おもちゃ・お菓子・アメなど）を用意する
- 常備薬や処方箋など持ち出せるよう準備する



早めに避難できるように準備をしておきましょう

- 避難場所の確認、避難ルートを事前に把握する
- 自らの移動手段を考えておく（特に車いす利用者など）
- 持ち物や衣類に名前など明示しておく（本人が自分の情報を伝えられない場合を想定）
- 常備薬や処方箋など持ち出せるよう準備する
- 避難を手助けしてくれる人を見つけておく

地域の人たちに自分の障がいについて知ってもらいましょう

- 災害時要援護者台帳への登録・確認
- 個人のヘルプカード（名前・生年月日・血液型・緊急連絡先など書いたもの・電話お願い手帳など）を作って携帯する
- 被災時の連絡体制を家族やご近所の方などと話し合う
- 地域の防災訓練に参加する
- 近所の方などと、日頃から挨拶を交わしたり、地域の催しなどに参加する
- 自らで（本人と一緒に）避難所までの道のりを歩くなどし、被災時の不安を少しでも解消しておく
- 学校や職場、通っている施設などで災害にあったらどうするか、決まりを覚えてもらい避難などの練習をしておく

⑤ 視覚障がいのある方



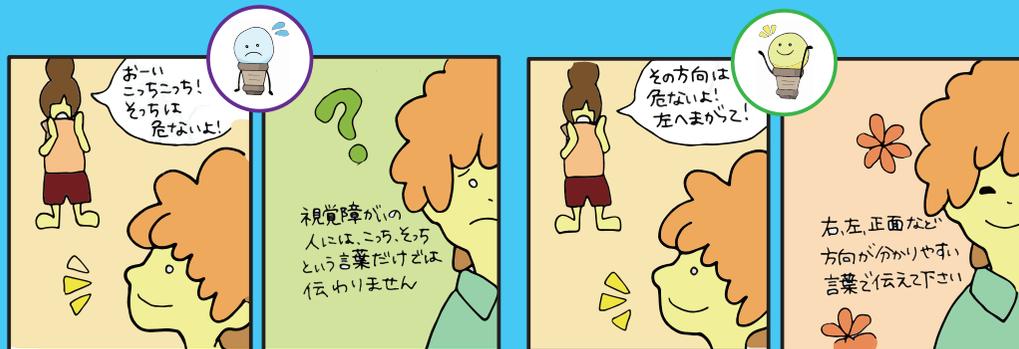
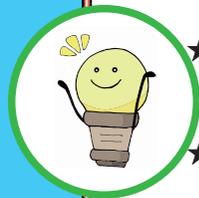
こんなことに困ります

- ☆ 自分から支援を頼める人を見つけられないこと。
- ☆ 一人（単独）で安全な場所までの移動ができないこと。
- ☆ 電柱や塀の崩壊などの危険が把握できないこと。
- ☆ 「そっち」「こっち」という声かけでは方向がわからないこと。



具体的な対応は？

- ★ 「〇〇（所属・地域など）の〇〇（名前）です。何かお手伝いすることはありますか？」と声をかけてください。声かけにより相手の顔が見えない不安がやわらぎます。
- ★ 災害状況などの情報・掲示物は必ず声で知らせてください。（停電・通行止め・火事など）
- ★ 右・左・正面など、本人を基準に方向を分かりやすく伝えてください。移動の際は、どこが安全でどこへ向かっているのか声で教えてください。
- ★ 盲導犬を連れている場合、直接引いたり触ったりしないでください。



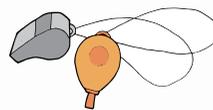
非常用持出品

じぶんをまもる

リュックサックなどに入れてすぐに持ち出せるようにするもの

いつも持っているもの

- 中断できない薬の予備
- 携帯電話
- おねがいカード
- 笛・フザー
- 貴重品など



衣類

- 下着
- 防寒着
- 雨具
- 軍手
- スリッパ
- ヘルメット

食

- 飲料水
- 携帯できる保存食
- 特別食（アレルギー食など）
- マグカップ
- ラップ



衛生用品

- タオル
- マスク
- 歯ブラシ
- ティッシュ・ウェットタオル
- 携帯用トイレ
- オムツ・生理用品



医薬品

- 普段飲んでいる薬
- 常備薬（かぜ薬・胃腸薬など）
- 救急セット



生活用品

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備の電池
- 携帯電話などの充電器
- カイロ
- 気に入っているグッズ



貴重品など

- 現金
- 印鑑
- 保険証（コピー）
- お薬手帳
- 通帳
- 免許証
- 障がい者手帳
- サポートブックなど、本人の特徴などがわかるもの



- ※ その他にも、自分に必要な物がなにかを、確認しましょう！
- ※ 使用期限のあるものは定期的に確認しましょう！
- ※ 介助犬・盲導犬などのパートナーに必要な物も忘れずに！

④ 災害発生に備えるチェックリスト (障がい種別編)

障がいに応じて準備しておくものの例です。自分に合った対応を考えましょう。
※空白欄にはその他必要なものを自分で書き入れてください

視覚障がいのある方

- メガネ
- 白杖 (折りたたみ式など)
- 時計 (音声・触知式など)
- 緊急時の連絡先の点字メモ
- 携帯式ラジオ (カード式など)

- 点字版
- メモ用録音機
-
-
-



肢体不自由のある方

- 器具の予備電池など
- おびいひも・担架や毛布など
- 携帯トイレなど自分に合った排泄処理用品

- 褥瘡対策ができるもの
- 治療食や特別食
-



聴覚障がい・言語障がいのある方

- 予備の補聴器
- 携帯用会話補助装置
- 器具の予備電池など
- 筆談用具 (ホワイトボードなど)

- 笛・ブザー (常に携帯する)
- 電話お願い手帳
-
-



知的障がい・発達障がいのある方

- いつも飲んでいる薬やその説明書など
- いつも使っているもの (おもちゃ・本・音楽・時計など)
- サポートブック
(自分の住所や名前・医療の情報などが書いてあるもの)
- こだわりのある食品
- 家族の写真 (家族とはぐれた時の確認用。裏に家族の名前や連絡先を書いておく)
-
-



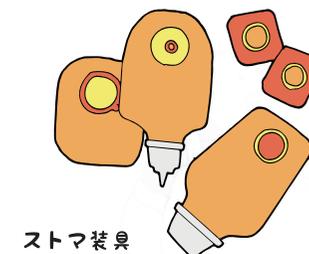
精神障がいのある方

- いつも飲んでいる薬
- 薬の処方箋やお薬手帳・説明文の写し
- メモリーノート、ICレコーダーなどの
記憶の補助ツール
-
-

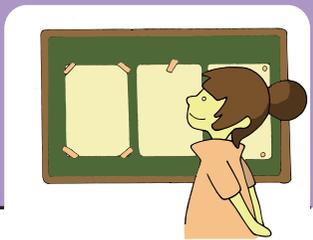


内部障がい・難病のある方など

- 中断できない薬や点滴などとその用具
- 治療食や特別食
- 緊急医療など記載したもの
- 予備のストマなど
-
-



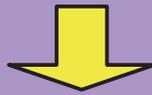
⑦ 聴覚障がいのある方



こんなことに困ります



- ★ 防災無線や広報車、館内アナウンスの音が聞こえないこと。
- ★ 物資や食料の配給など、大切な連絡や情報が正確に伝わらないこと。
- ★ 建物などに閉じ込められた場合、気付かれず孤立してしまうこと。



具体的な対応は？

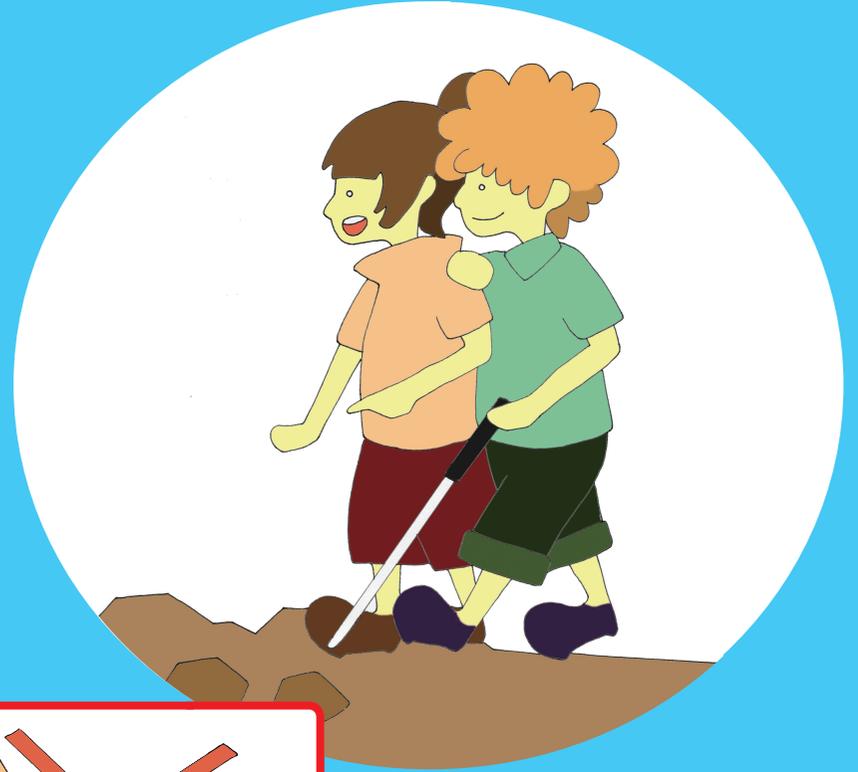


- ★ 避難情報などは、文字で伝える工夫をしてください。
- ★ 手話ができなくても、筆談や口の動きがよく見えるようにゆっくりはっきり話すなどして情報を伝えてください。
- ★ アナウンスの内容を紙に書いて、すぐに掲示板などに貼り出してください。
- ★ 建物内に閉じ込められていないか、安否確認をお願いします。



誘導の方法

- 1、肩や腕を貸す形で、半歩前を歩いてください。
- 2、押ししたり引っ張ったり急に走ったりしないでください。
- 3、言葉で、周りの状況を伝えながら歩いてください。また、離れる時も一声かけてください。



⑥ 肢体不自由のある方

こんなことに困ります

- ☆ 車いすなどを使用できず安全な場所までの移動ができなくなること。
- ☆ 避難できず孤立してしまうこと。
- ☆ 言葉を上手く相手に伝えられないこと。
- ☆ 医療的な処置ができなくなること。
- ☆ 身の回りのことなど、様々な手助けが必要となること。



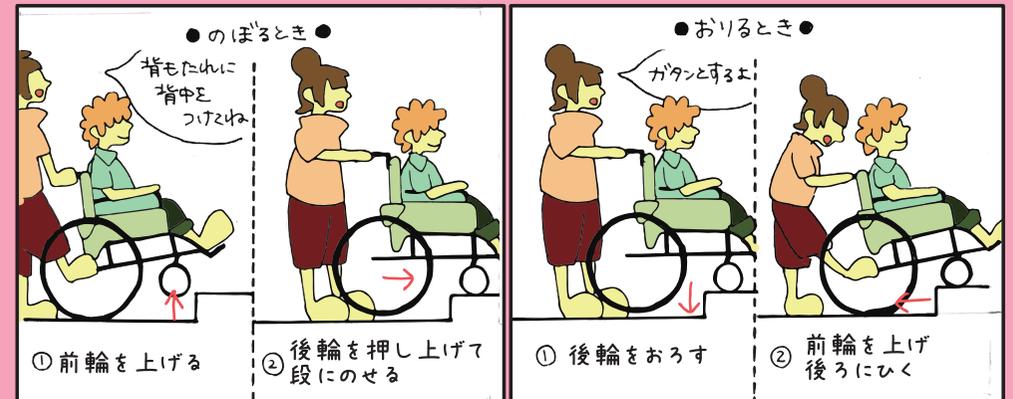
具体的な対応は？

- ★ 移動の際は、二人以上で抱えてください。シーツやバスタオルを使用しても良いです。
- ★ 避難所に行けず、自宅に残ることがあります。安否確認や声掛けをお願いします。
- ★ 手伝ってほしいことを伝えられないこともあるので、短い文章で話してください。



車いすの使い方

- 1、 車いすの真後ろに立って、両手でハンドグリップ（介助者が車いすを押しするために握る部分）を深く、しっかり握ります。
- 2、 前後左右に注意して、一定の速度でゆっくり押します。
- 3、 車いすを止めるときや、乗り移る場合などは、必ずブレーキをかけましょう。
- 4、 傾斜している道では、特に左右のバランスに注意しながら押すようにしましょう。
- 5、 路面の段差や溝、砂利道など、車いすに衝撃や振動を与えるところはなるべく避けるようにしましょう。
- 6、 段差があるときは、ティッピングレバー（車いすの後部に出ている棒）を踏み、前輪を段に乗せて、後輪を押し上げます。
- 7、 フットレスト（足を乗せる台）に足が乗っていないか、手が車輪に触れると、乗っている人にけがをさせてしまいますので注意が必要です。



⑧ 知的障がい・発達障がいのある方

知的障がい・発達障がいの方への支援について

こんな方がいます

- ☆ 聴覚や視覚が過敏なため、特定の声（赤ちゃんの泣き声など）や音（機械音など）、本人の興味あるものを見つけた場合など、すぐに反応し行動してしまう方。
- ☆ 耳をふさぎながら走り出すなどの行動がみられる方。
- ☆ たくさんの音や人がいる環境が苦痛で、避難所にいられない方。
- ☆ 治療が必要なケガをしているのに、平気な顔をしてしまう方。



具体的な対応は？

- ★ イヤホンで音楽を聴いたり、イヤーマフ（ヘッドフォン）を利用している人がいます。
- ★ 大声で注意することは逆効果です。話しかけるときは、穏やかな声で短く具体的に指示してください。（例：「走ってはダメ！」→「ゆっくり歩きます」）
- ★ ケガの有無のチェックや体温などの健康管理が必要です。



大丈夫だよ



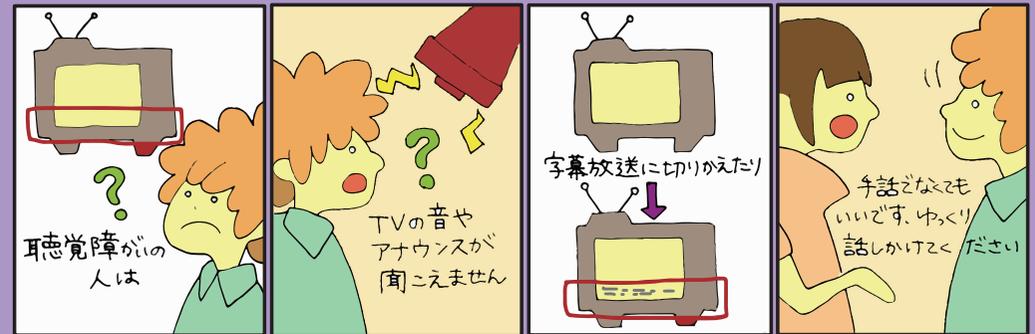
こんなことに困ります

- ☆ テレビに、字幕・手話がないと災害の様子がわからないこと。
- ☆ 夜間や暗い場所・停電時には、手話や筆談で話すことができないこと。
- ☆ 見た目では、聞こえないことがわからないので、声をかけられても「知らん顔をしている」と誤解されること。



具体的な対応は？

- ★ テレビに字幕を表示する設定をするなど、情報を得やすくしてください。
- ★ 相談受付などに一緒に行ってコミュニケーションの手助けをしてください。
- ★ 携帯電話や懐中電灯などで明かりをとるなど、手助けをお願いします。



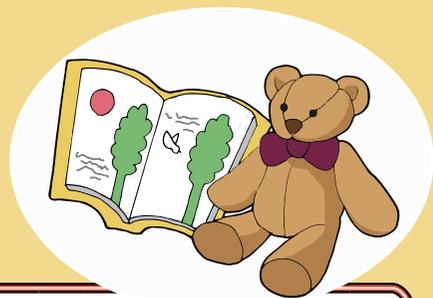
⑧ 知的障がい・発達障がいのある方



知的障がい・発達障がいの方への支援について

★ 性格・障がいの程度は、人それぞれで特徴や行動が違うため、まずは近くに家族や支援者に声をかけてください。

知的障がい・発達障がいのある方は、見た目では障がいがあるようには見えないことがあります。そのため、対応にはコツが必要です。



具体的な対応は？

★ 不安を言葉で表現することが苦手です。周りが落ち着いて過ごすことが大切です。

★ 「怖いんだよね」「嫌だよね」などと、顔を見て穏やかに声をかけてください。

★ パニックを起こしたら、無理に制止せず周りのものを片付けたり遠ざけたりしてください。落ち着くまで静かに待ってあげてください。

★ CD・DVDなど、自分の好きな曲や画像を見たり、ぬいぐるみ・おもちゃ・パズルなどの本人の馴染みのあるグッズを渡すと落ち着くことがあります。



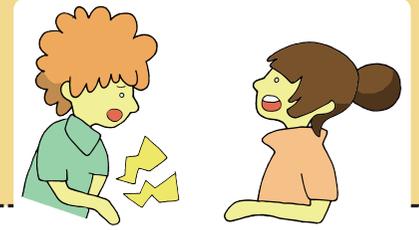
こんな方がいます

- ★ 環境変化が苦手なため、不安から働きかけに強い抵抗を示す方。
- ★ 制止しても聞けず動き回ったり、甲高い声を出す・泣くなどの行動がみられる方。
- ★ 見通しの立たないことに強い不安を示す方。(学校や職場などの休み、停電、テレビ番組の変更などで不安になります。)
- ★ 不安から、些細なことでパニックになる方。
- ★ ストレスから頭痛・腹痛・吐き気・夜尿・チックなどの症状があらわれる方。



メモ

(*^*) おぼえておくことが必要なことや、家族との約束などを書いておきましょう！



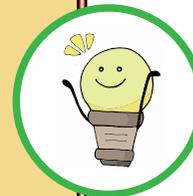
こんな方がいます



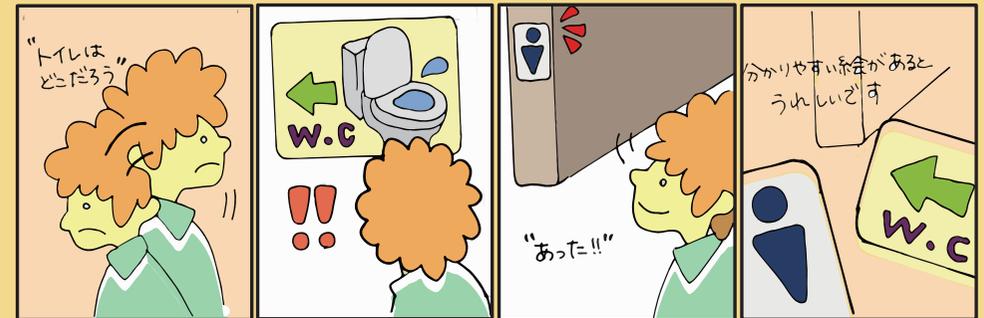
- ☆ 話し言葉を聞き取れず、困っていることを伝えられない方。
- ☆ 痛みの伝え方がわからず、ソワソワと動く・声を出すなどして行動で訴える方。
- ☆ 危険な行為がわからないため、地盤のゆるいところなど、危険い場所に行ってしまうたり、医療機器をさわってしまう方。



具体的な対応は？



- ★ わかりやすい絵や表示板を用いて伝えるなどしてください。
- ★ 本人がどこかへ行ってしまわないように、見守ります。
- ★ 本人にとって気になるものがあると、むやみにさわってしまうことがあるため、見えないように布で覆ったり、本人の目に触れないように別の場所に移すなどしてください。



⑨ 精神の疾患や障がいのある方



こんなことに困ります



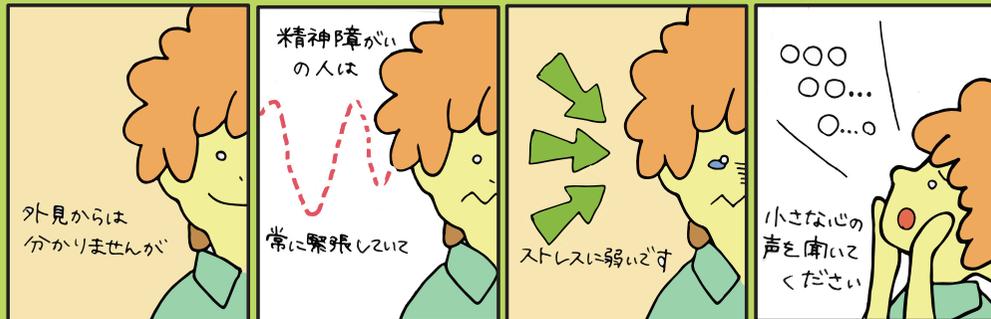
- ☆ 外見からは、障がいがあることをわかってもらえないこと。
- ☆ 不安が強く襲ってくるため、集団生活のペースについていけないことがあること。
- ☆ 常に緊張し、くつろぐことが苦手なこと。
- ☆ 疲れやすく調子にムラがあること。



具体的な対応は?



- ★ 声を穏やかにして、話しかけてください。
- ★ イヤホンで音楽を聴いたりすると落ち着くことがあります。
- ★ 不安定になっているときなどは、大声で叱ったりせず、場所を変えたりして気持ちを静めるなどの対応をお願いします。



こんなことに困ります



- ☆ 聞かれたことに即答できないときがあること。
- ☆ 困っていることが自分から伝えられないこと。
- ☆ 情報を記憶することが難しく、繰り返し聞いてしまうこと。



具体的な対応は?



- ★ 答えられるまで待ってもらるか、時間が経ってからもう一度話をしてください。
- ★ 自分から行動を起こしにくいことがあるので、優しく声をかけて聞いてください。
- ★ 繰り返し聞かれたことや、大切な説明や予定は、記入の日時も併せてメモに書いて渡してください。



わたしの情報

年 月 日作成

ふりがな				顔写真	
氏名					
生年月日	年	月	日生		歳
性別		血液型			型
身長	cm		体重	kg	
所属(学校)					
障がい名					
所有手帳	<input type="checkbox"/> 療育手帳(A・B・C) <input type="checkbox"/> 精神保健福祉手帳(級) <input type="checkbox"/> 身体障害者手帳(種 級) <input type="checkbox"/> 手帳なし				
住所					
TEL	-				
連絡優先順	連絡先				
1	名前			続柄	
	連絡先	自宅			
		勤務先			
住所					
2	名前			続柄	
	連絡先	自宅			
		勤務先			
住所					
① 障がいに関する医療機関					
病院名					
主治医氏名				TEL	
主治医からの注意事項					
服用中の薬	・ ・ ・				
アレルギー	有 ・ 無	アレルギーの内容			
② その他 かかりつけの医療機関					
診療科目	医療機関	電話番号	備考(主治医など)		
③ その他留意点など					
医療機関にかかる場合に、伝えておきたいことなどを記入してください。					

■ お住まいの市町窓口

市町名	課名	郵便番号	住所	電話番号	ファックス番号
あま市	安全安心課 消防防災係	490-1292	あま市木田戌亥18番地1	052-444-0862	052-441-8330
	社会福祉課 障害福祉係	490-1198	あま市菟目寺二伴田76番地	052-444-3135	052-443-3555
大治町	防災危機管理課 消防防犯係	490-1192	大治町大字馬島字大門西1-1	052-444-2711	052-443-4468
	民生課 障害福祉係				

■ お住まいの指定相談支援事業所

市町名	事業所名	郵便番号	住所	電話番号	ファックス番号	障害種別
あま市	あま市社会福祉協議会 障害相談支援事業所	490-1205	あま市花正中之割13番地1	052-446-0612	052-443-3844	身体・知的・ 精神・児童
大治町	「おおはる」指定障害相談 支援事業所	490-1143	大治町大字砂子字西河原18	052-433-2343	052-442-0882	身体・知的・ 精神・児童

■ 相談窓口一覧

名称	郵便番号	住所	電話番号	ファックス番号
○消防				
海部東部消防署	497-0002	あま市七宝町遠島十坪119番地1	052-442-0119	052-442-3180
海部東部消防署北分署	490-1105	あま市新居屋岩屋75番地	052-443-0119	052-443-0159
海部東部消防署南分署	490-1142	大治町大字三本木字西之川102番地の1	052-444-0119	052-444-0350
○県福祉相談センター(児童・障害者相談センター)				
中央児童・障害者相談センター	460-0001	名古屋市中区三の丸2-6-1 (三の丸庁舎7階)	052-961-7253	052-950-2355
海部児童・障害者相談センター	496-8535	津島市西柳原町1-14 (海部総合庁舎3階)	0567-25-8118	0567-24-2229
○発達障害者支援センター				
あいち発達障害者支援センター	480-0392	春日井市神屋町713-8 (心身障害者コローニ内)	0568-88-0849	0568-88-0964

■ 災害伝言ダイヤル

災害発生時には電話が混雑し、電話がつながりにくくなることがあります。被災地内の電話番号を利用して、安否などの情報を音声により伝達する「声の伝言板」で、災害時に限定して利用可能となります。全国の一般電話・公衆電話・携帯電話から利用することができます。

○ 伝言を入れたいとき

171-1-052-□□□-□□□□

案内放送が流れます

自宅の電話番号を入力します

● 伝言を聞きたいとき

171-2-052-□□□-□□□□

案内放送が流れます

自宅の電話番号を入力します

■ 災害情報を調べるには

気象庁ホームページ	http://www.jma.go.jp/	気象警報・注意報情報など
国土交通省 川の防災情報	http://www.river.go.jp/ 携帯サイト http://i.river.go.jp/	洪水予報・水位・雨量情報など
愛知県 川の防災情報	http://www.kasen-owari.jp/ 携帯サイト http://www.kasen-owari.jp/m/	愛知県が管理する河川情報 (新川・五条川・日光川・福田川・蟹江川など)の情報